


導入事例

ASH CORPORATION CUSTOMER STORIES :
GMO INTERNET GROUP

導入事例

GMOインターネットグループ株式会社

事業統括本部 Webプロモーション研究室 クリエイティブチーム



AI搭載PTZカメラを活用して
入社式の配信を成功させる



AI自動追従機能と遠隔操作が可能なPTZカメラで、 スマートな映像制作を実現

GMOインターネットグループは、新卒パートナーの入社式でAI搭載PTZカメラを試験的に導入し、効率的で視覚的にスマートな映像制作を実現した。PTZカメラの自動追従機能や遠隔操作により、従来必要だったカメラマンの配置が簡素化され、社内からも好評を得ることができた。

この導入事例は、映像制作や配信業務における企業や配信スタジオの課題解決に、AI技術の活用が大きな可能性を提供することを示している。

GMOインターネットグループは、インターネットのインフラ事業を中心とし、グループ全体で連結100社以上を抱える大規模な企業グループである。GMOインターネットグループはここ数年、入社式をオンライン上で開催していたが、昨年からはグループ第2本社・渋谷フクラスにある「シナジーカフェ GMO Yours」にて、新卒パートナー（従業員）が実際に顔をあわせる対面形式での開催が再開され、4年ぶりの「脱マスク」による入社式となった。また、当日会場に参加できないパートナー向けのライブ配信も兼ねたハイブリッドイベント形式で行われた。

配信を担当したのは、GMOインターネットグループ株式会社事業統括本部Webプロモーション研究室クリエイティブチームの5名で、そのうち4名については、普段はインハウスの動画クリエイターとして、広告動画やブランド価値向上のための動画制作を担当している。今回、同社の人事総務部より入社式の配信依頼があったことがきっかけで、PTZカメラ

やAIなどの映像制作ソリューションを試験的に導入することとなった。これはAI・ロボット・動画等の最新技術を活用し、業務効率化を図るGMOインターネットグループの方針に沿ったものである。

また、配信業務については他部署ではこれまでも行われていたものの、同部署では初めての試みであった。



人員効率と視覚的なスマートさの両立

従来の撮影方法ではステージ上の登壇者の動きをカメラで追いかけるために、どうしてもカメラマンをステージ近くに配置する必要があり、カメラマンが目立ってしまい視覚的にスマートではなかった。そこで、AIによる被写体の自動追従が可能なカメラと、遠隔操作が容易な PTZ カメラを選定することにした。将来的な導入を見据えて、PTZ カメラは高品質な映像を手頃な価格で利用できる点も選定の上で重要なポイントであった。



配信現場のカメラ設定と接続

当日の配信現場では、AI 自動追従機能が搭載された PTZ カメラ（以下、AI カメラ）で登壇者を追いかけ、別の PTZ カメラで全体像を映す設定にしていた。機材は各デバイスで IP 設定を行い、ローカルエリアネットワーク（LAN）を介して接続、映像ソースは SDI や HDMI で出力し、スイッチャーに入力した。入社式で使われたカメラは合計5台。PTZ カメラ2台以外の

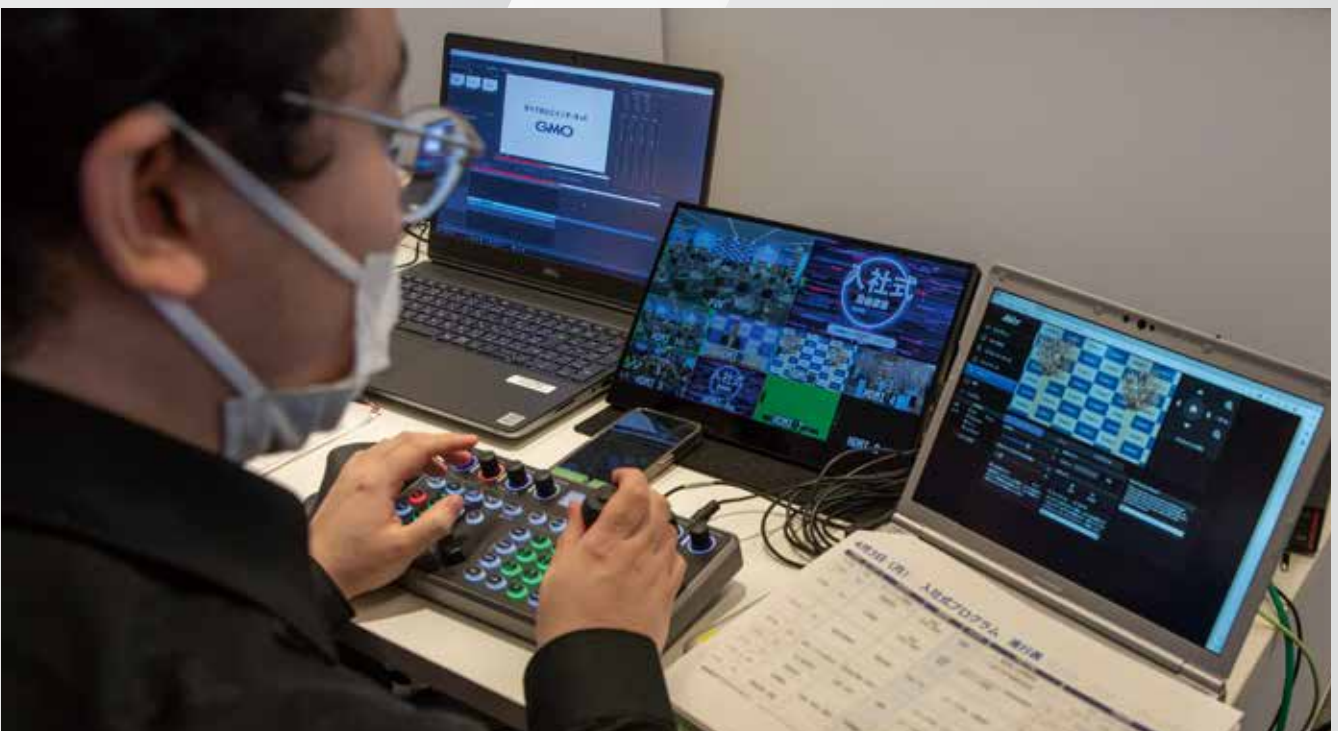
残り3台のカメラは同社が保有するカメラを固定し、式の最中に動かす必要があるカメラはすべて PTZ カメラ 2台で対応した。PTZ カメラは、AVer の AI カメラ「PTC310U」を登壇者の追尾用に使用し、AVITOK の PTZ カメラ「V429B4-NDI」は、ステージの上手袖の位置に設置され、登壇者とステージ前の座席に座る役員や新卒パートナーの顔、会場の様子を撮影するために使われた。

また、AVITOK の PTZ カメラの制御は同社の PTZ カメラ用コントローラー「C170」で操作され、AVer の AI カメラはパソコン上の Web UI と付属のリモコンで操作された。AI カメラは基本的に自動追従で任せたまま稼働され、登壇者をうまく追い切れなかった場合にのみ調整する形で使われた。これにより、被写体が急に動いてもステージ上でカメラマンが慌ててカメラを動かすこともなくなり、1人で2台のカメラを同時に操作することができるようになった。さらに、カメラマンをステージ上に配置する必要がなくなり、効率的な映像制作と共に見栄えもスマートになった。

担当者の感想とAIカメラの利便性

今回の配信は、音響、映像出し、配信カメラ、配信チェック、スイッチャー担当を含めて5人で担当した。2種類の PTZ カメラを利用した結果、入社式の配信がスムーズで高品質なものとなり、社内からも好評を得ることができた。

また、担当者からは「AI カメラの自動追従機能が非常に便利で、もう1台の PTZ カメラに集中できたことが大きなポイントでした。」「初めて使うにも関わらず、操作が直感的



で簡単に扱えました。リモコンで自動追従を解除することもでき、自由度が高かったです」「セットアップが容易で、固定IPの設定さえ済ませれば問題なく接続できました。」といった声が寄せられた。



この記事では、GMOインターネットグループがAIカメラとPTZカメラを試験的に導入し、入社式の配信を成功させた事例を紹介した。

映像機器にもAI技術の活用が進んでおり、これまで専任者に頼っていた作業を一部AIに任せることで、企業イベントなどの映像制作や配信業務がより手軽で効率的になるだろう。映像制作における企業や配信スタジオの課題解決にAI搭載PTZカメラをオススメする。

アスク・エムイーの導入事例はこちら

<https://www.ask-media.jp/solutions.html>



導入製品



AVer PTC310U



AVITOK V429B4-NDI



AVITOK C170



お問い合わせはこちら

本システムに関する問い合わせ先

アスク・エムイー
Pro Video solution by ASK Corp.

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21
山脇ビル 7F 株式会社アスク M&E 事業部